

2023 年度春季オープン競技会

競技注意事項

(国立競技場版)

1. 規則について

本大会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 団体待機場所は 2 階コンコース、3 階コンコースに設置する。各団体が待機場所を確保できるよう、出場人数が 30 名を上回る団体のみ待機場所を指定する。出場人数が 30 名以下の団体は各自、団体待機場所内で場所を確保すること。また、本競技会には、多くの団体、選手が参加するため、節度をもった使用を心がけること。各日競技終了後は、荷物をまとめた状態とし、各団体が責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者が責任を負うことはない。
- 3) コンコース、リングロードでの自動二輪車、自転車等の車両での移動は厳禁とする。
- 4) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 5) 競技場内の全ての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
- 6) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従い、競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 7) グラウンドおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 8) トレーナー活動は、各団体の選手待機場所にて行うこと。
- 9) 練習は室内練習場、リングロードを利用し、競技役員の指示には必ず従うこと。
なお、練習場の詳細については、練習場注意事項を参照すること。

2. 競技者の招集について

- 1) 招集所は、100m スタート地点後方の GATE1(諸室図参照)に設置する。
- 2) 競技者の競技エリアへの入場は競技役員の指示による。
- 3) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。代理人による点呼は認めない。
- 4) トラック種目出場者は、招集所入口で腰ナンバー標識および荷物運搬袋を受け取ること。
- 5) 点呼の際には、アスリートビブス、ユニフォーム、腰ナンバー標識、シューズ、商標のチェックを行う。
- 6) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 7) フィールド種目とリレー種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が TIC（100m スタート地点後方）に用意されている「重複出場者届」を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに TIC に提出すること。**
- 8) リレー種目は、TIC（100m スタート地点後方）に用意されている「リレーオーダー用紙」に記入して、**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC に提出すること**（メンバーについては競技規則 TR24.10 参照のこと）。
- 9) **棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始時刻 2 時間前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。**
- 10) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場者届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに TIC（100m スタート地点後方）に提出されない場合、当該種目を欠場したものとして処理するので注意すること。
- 11) リレーに 1 団体から複数のチームが出場する場合、それぞれのチームは独立した団体とみなし、

チーム間での変更・交代は認めない。

3. アスリートビブスについて

- 1) 主催者指定のアスリートビブスを 2 枚配付する。そのままの大きさを胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸または背だけでも良い。
- 2) トラック種目出場者は招集所で配付する腰ナンバー標識を、両腰の上部、やや後ろにつけること。なお、5000m、10000m、10000mW においては、周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識を右腰につけること。
- 3) 5000m、10000m、10000mW、4×400mR、には、団体受付にてレース用特別アスリートビブスを配付するので、**レース用特別アスリートビブスを着用した状態で招集を受けること**。また、七種競技、十種競技出場者には最終種目のみ特別アスリートビブスを該当種目開始前に配付する。
- 4) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種 目	アスリートビブス
男 子	黄地×黒数字
女 子	ピンク地×黒数字
男子 5000m/10000m/10000mW/ 4×400mR/十種	白地×黒数字
女子 5000m/10000m/10000mW/ 4×400mR/七種	白地×赤数字

4. 欠場について

エントリー後、何らかの事情で欠場する場合には、3 月 8 日（金）12 時までに欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール(kanto-entry@kgrr.org)または、FAX (03-5411-1499) に送信すること。

また、3 月 8 日（金）12 時以降（大会当日を含む）に欠場を申し出る場合は、欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール(kanto-entry@kgrr.org)を送信するか、大会当日に、TIC（100m スタート地点後方）に用意してある欠場届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、TIC に提出すること。

5. 番組編成・競技日程について

- 1) 試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。

6. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 2) 棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用して練習すること。
- 3) 投てき物に関して持ち込みを希望する場合は、競技開始の 1 時間 45 分前から 1 時間 30 分前までに GATE4 付近の器具庫にて公式計測員による検査を受けること（GATE1 の招集所から入場）。持ち込み可能な投てき物は 1 人 1 個とする。検査に合格した用器具については「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。なお、競技終了後は「預り証」を確認の上、競技終了後現地で返却する。個人所有のものは競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については持ち込み者個人の責任とする。

7. 競技について

1) トラック競技について

- ① 計時は全て電気計時（0.01 秒）を用いて行う。
- ② 5000m 以上の種目では、給水を行う。給水場所はバックストレートとする。
- ③ 以下の種目で一定時間内に残り 1 周に達しない者は失格とし、競技を中止させる。

男子 5000m	18 分 00 秒
女子 5000m	19 分 30 秒
男子 10000m	38 分 00 秒
女子 10000m	40 分 00 秒
男女 10000mW	60 分 00 秒

- ④ 10000mW では、先頭の競技者が残り 1 周となっても競歩審判員は移動しない。競技者の歩型が競技規則 TR54.2 に明らかに反する時には、競歩審判員主任はその競技者に既に出されたレッドカードの有無にかかわらず、当該競技者を単独で失格にする権限を有するものとする。

2) フィールド種目について

- ① 走幅跳・三段跳・円盤投・やり投の試技は 3 回とする。
- ② 練習跳躍を除き、踏み切り位置は当該競技者に示さない。
- ③ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

		練習①	練習②	練習③	練習④	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
走高跳	男子	1m60	1m70	1m80		1m65	1m75	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	以降最後の1人となるまで 2cm刻みとする。	
	女子	1m15	1m30	1m45	1m50	1m25	1m45	1m55	1m58	1m61	1m63	1m65	以降最後の1人となるまで 2cm刻みとする。		
棒高跳	男子	3m20	3m80	4m20		3m30	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m60	4m80	5m00	以降最後の 1人となるまで 10cm刻み
	女子	1m90	2m30	3m00	3m50	2m00	2m30	2m50	2m70	2m90	3m10	以降最後の1人となるまで 10cm刻みとする。			

※練習の高さは練習場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

- ④ 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子 1 組を 12m、2 組を 13m、女子 10m とする。

3) 混成競技について

- ① 招集最初の競技種目は招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は 35 分前に開始し、25 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成 競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 2 ピットで行う棒高跳については、**2 日目のそれぞれ最初の種目が終了した時点で、希望する高さを混成競技係に申請すること。**なお、バーの上げ方は以下の通りとする（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降
十種競技 棒高跳	2m00	2m30	2m50	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	+10cm

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

4) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回種目において、周回遅れか、周回遅れになりそうな選手に競技者がペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③ フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外(スタンド)にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外(スタンド)から見せることに限定され、録画した機材(ビデオ装置・携帯電話等)を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

5) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアを1層スタンド1・2列目に設ける。

8. 結果発表と抗議について

- ・各種目の結果の正式発表は、大型スクリーンでおこなう。
- ・競技会中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、TIC (100m スタート地点後方) にある抗議受付用紙に記入する。その後、担当総務員(大会本部に常駐)を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

9. 商標等について

競技者が競技エリアに商標のついた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、『競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕』を遵守すること。基準を超える商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等で隠すこと。

10. 衣類の管理について

- 1) 荷物運搬用として主催者で袋を用意する。氏名および団体名を招集所で記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等はビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。

11. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2023 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

12. その他

1) 入場規制について

今大会では、以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
1層スタンドコーチングエリア	競技役員・チームスタッフ
グラウンド・招集所 ミックスゾーン	競技役員・選手
室内練習場	選手・チームスタッフ
各諸室	競技役員
混成競技控室	混成競技出場選手

2) 盗難・紛失について

主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等はTICで保管するが、回収当日の全競技終了後1時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する)。

3) 開門と閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
3月15日(金)	8:00	18:30
3月16日(土)	7:00	18:30
3月17日(日)	7:00	18:30

※開・閉門時刻は厳守のこと。

4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟

競技注意事項

(上柚木公園陸上競技場版)

1. 規則について

本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 団体待機場所については、両サイドの芝生を開放する。主催者側で各団体待機場所の割り振りを行わないため、各自で場所を確保すること。また、本競技会には、多くの団体、選手が参加するため、節度をもった使用を心がけること。
- 3) 競技場内におけるテープ等での貼り付けは一切禁止する。
- 4) 競技場内の全ての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
- 5) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従い、競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 6) グラウンドでは、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 7) トレーナー活動は、各団体の選手待機場所にて行うこと。
- 8) 練習は練習可能エリアを利用し、競技役員の指示には必ず従うこと。

2. 競技者の招集について

- 1) すべて現地招集とする。
- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程記載の通りとし、招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。代理人による点呼は認めない。
- 3) 点呼の際には、アスリートビブス、ユニフォーム、腰ナンバー標識、シューズ、商標のチェックを行う。
- 4) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 5) 招集完了時刻に遅れた場合、当該種目を欠場したものとして処理するので注意すること。

3. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは正規のものを2枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸または背だけでも良い。
- 2) トラック種目出場者は招集所で配付する腰ナンバー標識を、両腰の上部、やや後ろにつけること。
- 3) アスリートビブスの地色、数字の色は次の通りとする。

種目	アスリートビブス
男子	黄地×黒数字
女子	ピンク地×黒数字

4. 欠場について

エントリー後、何らかの事情で欠場する場合には、3月8日（金）19時までに欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、メール(kanto-entry@kgrr.org)または、FAX(03-5411-1499)に送信すること。

また、3月8日（金）19時以降（大会当日を含む）に欠場を申し出る場合は、欠場届（本連盟ウェブサイトに掲載）に必要事項を記入し監督が署名捺印の上メール(kanto-entry@kgrr.org)を送信するか、大会当日に、TIC（本部）に用意してある欠場届に必要事項を記入し監督が署名捺印の上、TICに提出すること。

5. 番組編成について

- 1) 試技順は、プログラム記載の通りとする。
- 2) 本大会は対校戦ではないため、番組編成における同所属は配慮しない。

6. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物・棒高跳用ポールを除く）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 2) 投てき物に関して持ち込みを希望する場合は、競技開始の1時間30分前から1時間15分前までに用器具庫にて公式計測員による検査を受けること。持込可能な投てき物は1人1個とする。検査に合格した用器具については「預り証」を発行の上、主催者で一括して借り上げ、参加競技者間で共有できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。なお、競技終了後は「預り証」を確認の上、競技終了後現地で返却する。個人所有のものは競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については持ち込み者個人の責任とする。

7. 競技について

- 1) トラック競技について
 - ① 計時は全て電気計時（0.01秒）を用いて行う。
- 2) フィールド種目について
 - ① 砲丸投の試技は3回とする。
- 3) 混成競技について
 - ① 招集は現地で行う。招集時刻は競技開始時刻の30分前に開始し、20分前に完了とする。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
 - ② 混成競技者控室は、諸室図参照のこと。
 - ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
 - ④ 競技者は、走高跳の希望する最初の高さを第1種目終了後、混成競技係に申請すること。なお、バーの上げ方は以下の通りとする。（ただし、天候等の状況により変更することもある）。

種目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	以降	
十種競技	走高跳	1m40	1m50	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	1m86	+2cm
七種競技	走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	+3cm

※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

4) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないにかかわらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② フィールド種目に出場している選手に対して競技エリア外にいる者が録画した映像を見せることは助力にはならないが、競技エリア外から見せることに限定され、録画した機材(ビデオ装置・携帯電話等)を競技エリアにいる競技者が手に持った場合は助力とみなす。

5) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアを、スタンド、芝生、バックスタンドに設ける。

8. 結果発表と抗議について

記録掲示は、本連盟ホームページならびに X(旧 twitter)にて行い、競技場内では掲示しない。

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位や記録に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから 30 分以内に、大会本部にある抗議受付用紙に記入する。その後、担当総務員(大会本部に常駐)を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

9. 商標等について

競技者が競技エリアに商標のついた衣類やバッグ等を持ち込む場合は、『競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕』を遵守すること。基準を超える商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等で隠すこと。

10. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部及び競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2023 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

11. その他

1) 入場規制について

今大会は、全てのエリアで ID カードがない者の立ち入りは禁止とする。特に以下の区域に立ち入る者は、指定の ID カードを所持していなければならない。競技者は必ず ID カードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。

規制エリア	入場可能 ID (いずれか1つで可)
コーチングエリア	競技役員・チームスタッフ
グラウンド・混成競技控室	競技役員・選手
各諸室	競技役員

2) 盗難・紛失について

主催者で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は大会本部で保管するが、回収当日の全競技終了後 1 時間以内に申し出がない場合には即日廃棄する)。

3) 開門と閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
3 月 15 日(金)	7 : 30	16 : 30

※開・閉門時刻は厳守のこと。

- 4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。

関東学生陸上競技連盟